

# 農地防災ダムの効果について（平成26年8月5日の降雨）

道営防災ダム事業 おおとど 大榎地区

北海道留萌振興局・小平町

- 平成26年8月5日、前線を伴った低気圧の通過による豪雨により、北海道留萌南部地域に激しい降雨が観測されました。
- 大榎ダム流域においては、累計雨量132mm(8月5日2:00~21:00) 最大時間雨量27mmを記録しました。
- 大榎ダムで約137万m<sup>3</sup>を貯留(貯水率:85.9%<通常時に比べて54.8%上昇>)しました。
- 流入量がピーク時(8月5日11時頃)において約36m<sup>3</sup>/sに達し、その時のダムからの放流量は約13m<sup>3</sup>/sと流入量の6割程に相当する約23m<sup>3</sup>/sがカットされ、ダムにより、大榎子川の洪水を抑え、被害を最小限にし下流の被害の軽減を図りました。

## 事業概要

事業名	道営防災ダム事業
地区名	大榎地区
関係市町村	北海道留萌郡小平町
総事業費	6,581百万円
事業工期	昭和58年度~平成15年度
受益面積	121.4ha
主要工事	ダム 1基
事業主体	北海道
管理者	小平町

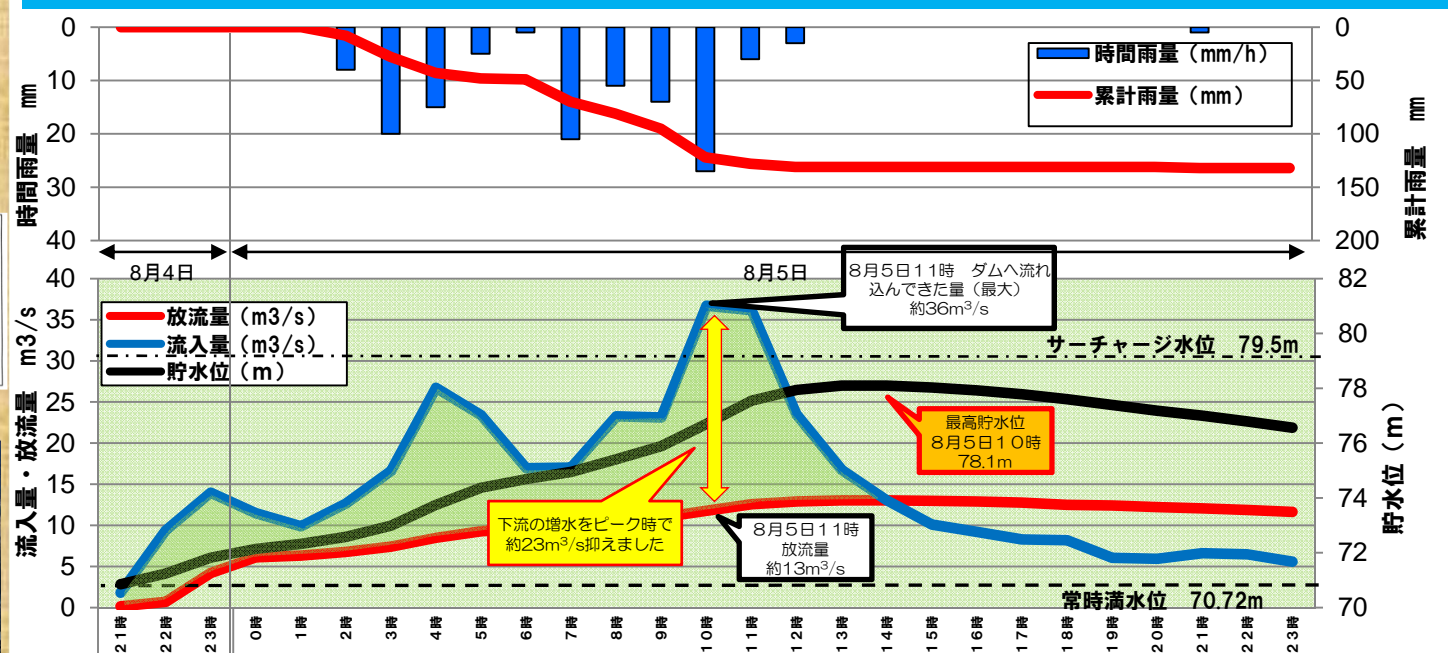


ダム全景



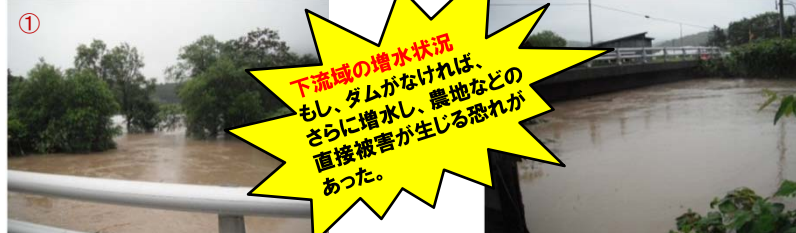
堤体全景

## 大榎ダムの洪水調節状況



## 大榎ダム：下流域における水位低減効果

大榎ダムにより、本川の流入を少なくし、支川の水を下流にながすことができました。



## 大榎ダム：貯水状況

